

2018年(H30年)

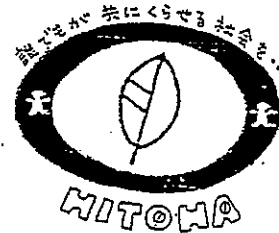
2月

No. 315

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>

(メールアドレス) honbu@hitoha-fukushi.com



社会福祉法人 ひとは福祉会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

- ひとはにとって、2018年の幕開けは長田4区や6区のとんどへの参加から始まりました。地域の一員として準備の段階から汗を流し、とんどではぜんざいに舌鼓を打ち、竹酒を酌み交わし、久しぶりに会う住民の方々と談笑は、去年のとんどが積雪で中止になっただけにまた一段と盛り上がりました。このとんどは、何よりも顔と顔を接することによって、人と人としてのつながりが深まるということを実感できる得難い経験の場です。このとんど風景を撮影しようと広島市内が駆けつけてこられた方もおり、地域おこしにとっても大事な行事だと感じています。
- ところが、1月15日付の福祉新聞によると、2016年度の障がいのある人たちに対する施設職員による虐待は、過去最高となり401件が報告されています。もちろん報告されていない虐待も数多くあると思います。そして被害にあった7割が知的な障がいのある人たちだと報告されています。
- その上、その要因の6割が、職員の「教育・知識・介護技術などに関する問題」だと報じられています。正直なところ衝撃を受けました。社会的な要因、個人的な要因、色々課題はあると思いますが、「自学」すなわち自ら「なぜだろう？」という疑問を持ち、その課題に取り組むことで「そうだったのか!」と共感できるように自分の人間力を磨いていきたいと思っています。
- 皆さん方のご支援ご指導をお願いします。
(理事長 寺尾 文尚)



「日々のつみ重ねで」
今年度から週に2日法人事務局で実習をしている川本さん。将来的な一般就労を目標とし、一生懸命頑張っています。来客対応や電話対応等、あぶらでは得られない事もたくさん経験しているようです。そこで...

昨年末、あぶらで行った鍋パーティーでの事。「しめ込みに用意していた大量の白飯が早い段階でなくなり、お腹も気持ちも満腹の中で迎えた最後の時間、「締め込の挨拶を川本さんに依頼します。突然で戸惑う気持ちの中、「皆さん、今年1年お疲れ様でした」と、見事な挨拶でした。人前で話すのは得意ではないかもしれませんが、様々な経験のつみ重ねで自信をつけてきている事を本当に嬉しく思います。

(就労センターあぶら 則川靖久)



10日 ショッピング販売

アロマ教室

16日 あじさい横丁



2月
あじさい横丁

ひとはつうしんがリニューアルします!!

○紙が変わります ○発行日が早くなります

これまで「ひとはつうしん」は5月号より、前月の25日を印刷日とし、順次配布してまいります。

B4サイズのざら紙2枚で

お届けしてきまして、4月号からはA3サイズのコピー用紙両面刷りでお届けします。

お手元に届くのが早くになります。



「小野さんとジャム」



早いもので、ひとはに入りもうすぐ2年になります。1年目より、



2年目はきららの仲間達との関わりをたくさん持てた気がします。



いろんな活動をしてきましたが、今回は私が担当しているジャム製造での



小野さんとのお話をします。



小野さんは、ひとはに来てすぐに名前をおぼえてもらえた方です。



本名の事をフルネームで「上田真実さん」と呼びます。



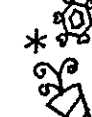
ジャムの瓶詰めが終わる、ラベル貼りをお願いすると、凡張画面な



小野さんは40~50本あるジャム瓶のラベル貼り作業を完ペキにやて



もらえます。



小野さんの活躍もあり、ひとは自慢の美味しいジャムをお届けできて



います。ありがとうございます。(ひとは作業所 上田真実)

「心を入れ替えて...」



先日、工房の新年会で、農園のみんなが考えた「事業所対抗!おもろ



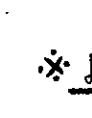
ずろく」をやった。サイコロを振り窓チームが止まったマスには「出田



さんの直してほしいところは何?」と書いてあった。窓に所属する緑さん



にマイクが渡されると「えー出田さんには心を入れ替えて仕事をして



ほしいです。」と一言...。その瞬間、今年の私の目標は「心を入れ

替えて仕事をする」に決まった。緑さんに「よくがんばってるね」と言わ

れるよう今年も1年がんばっていきましょう。

(ひとは工房 出田広志)

*より内容が皆さんに伝わりやすいよう、許可を得て名前を掲載しています。

「お世話になってます」

健康管理の職について早や15年がすぎました。ずーっと影で支えて

くれているきららの仲間がいます。薬の飲みまぢがいか、おきていよう

わかりやすくするために、小袋に名前を書いて準備するのですが、その小袋

を7年以上作ってくれているさおりさん、新聞広告の白い部分を集めて

私に聞いて作る準備をしている智美さん。ずーっとあまえている私

がいます。医務室にビッシリ貯まっています。本当にありがとう~

(看護部 中村利江)

ひとはの日々



「笑みそかのひととき」



毎年恒例のホームの年越しは、普段の人数の

3分の1で、いつもはにぎやかな談話コーナーももの静かな

時間が流れています。

笑みそかという事で、好みのお酒やおつまみを買いだしに行く特別感

でテンションの高いきららの仲間たちです。年の最後の夕食はみんな

オードブルを囲み、ローストビーフ、握りずし...のごちそうに、ちよびり

アルコールも。ごちそうはみるみるうちにみんなの胃袋におさまり、あ、という

間に完食です。その後女性陣は、美江さんの部屋で女子会。夜もふけ

近くのお寺の除夜の鐘の音に包まれてホームは新年を迎えたのでした。

(共同ホーム 蔵下美穂)